

特殊コレクション

1 特殊コレクション

資 料 名	受入時期	旧所蔵／寄贈者	概 要
葵文庫	大正 13	静岡師範学校	- 江戸幕府の旧蔵書で、和漢書 1,261 冊、蘭・仏・英・独などの洋書 2,325 冊の 3,586 冊からなる（『江戸幕府旧蔵書目録』（葵文庫）（昭和 45 年 4 月 18 日発行）による）。 - 明治元年府中（静岡）藩成立の時、駿府城内に設けられた学問所の蔵書となり、静岡師範学校を経て当館の所蔵となり、昭和 45 年「葵文庫」と名づけられた。
久能文庫	大正 13 昭和 4 昭和 56 昭和 59 平成 25	関口壮吉 関口隆克	- 第 3 代静岡県令（初代県知事）関口隆吉収集の図書・文書・記録類 837 部 2,455 冊からなる。 - 図書は徳川氏関係及び軍事・外交・農業を中心とする。 - 文書は三条実美・大久保利通・伊藤博文・勝海舟・山岡鉄舟など多数の名士書簡を含む。 - 隆吉収集の図書は、その没後、久能山東照宮に保管され、当館設立の議が決定された大正 10 年に県に「久能文庫」として寄贈された。
上村順太郎 蒐集浮世絵	昭和 11	上村五郎	上村順太郎が集めた江戸時代から明治までの浮世絵（錦絵）など版画類約 5,100 枚

2 主な本県ゆかりの貴重資料

資 料 名	受入時期	旧所蔵／寄贈者	概 要
山梨稲川遺稿類	昭和 2 昭和 9	田中光顕 戸塚 幸 米山梅吉	山梨稲川の遺稿・書簡など 103 点からなる。
内山真龍関係文献	昭和 11	徳川家達他 7 人	- 内山真龍関係の軸 6 幅と和書 2 冊 - 軸のうち遠州国学者関係書翰集 2 幅は、学者の真龍宛書翰等 113 点を収録。
大井文庫	昭和 15	大井 博	静岡浅間神社の神主大井家の資料約 1,600 点、神道・国学・郷土関係を中心とする。

（注）^{やま なし とう せん}〔山梨稲川〕（1771～1826） 漢学者、詩人。明和 8 年に庵原郡西方村（現静岡市清水区）に生まれる。稲川の号は 1811 年、駿府稲川村（現静岡市駿河区）に居を移したことによる。稲川の学問の特徴は「音韻論に先鞭をつけたもの」と内藤湖南は「先哲の学問」の中で評した。また門人を中心に漢詩の結社「楽山吟社」を主宰した。

^{うちやま またつ}〔内山真龍〕（1740～1821） 国学者。元文 5 年に豊田郡大谷村（現浜松市天竜区）に生まれる。1762 年賀茂真淵に入門、真龍と称す。真龍の国学史上の功績はその研究著述のほか、遠江、三河、駿河、信濃等 135 人に及ぶ門人を教育したことにより、特に遠州国学の基礎を築いたことである。

参考文献：静岡新聞社出版局編．静岡県歴史人物事典．静岡新聞社，1991．